

4回目接種を受け付けています

新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

60歳以上の対象者に順次予約券を送付

3回目接種を終えた60歳以上の対象者には、4回目の予約券（接種券一体型）などを順次送付しています。令和4年3月までに3回目を接種した人には、7月中に送付します。

■予約方法：左記インターネット予約サイトまたはコールセンターへ

※65歳以上で3回目を市内で接種した人には、日時・会場を市が指定します。

■新型コロナウイルスワクチン接種の予約、予約変更方法

①インターネット予約サイト
下記QRコードから予約や変更ができます。 市のホームページにインターネット予約マニュアルを掲載しています。

②コールセンター
☎0120-107-935 受付時間 8:30~17:30 (日曜、祝日休み)

■基礎疾患を有する人などの4回目接種券発行申請を受け付け中

18歳以上60歳未満で基礎疾患を有するまたはその他重症化リスクが高いと医師が認める人と、1・2回目の接種時に基礎疾患を自己申告した人は、接種券発行申請が必要です。

■申請方法：氏名、住所、連絡先、生年月日、基礎疾患病名、3回目接種日
を下記QRコード（申請フォーム）またはコールセンターへ



接種券発行申請フォーム

ワクチン接種の検討を

市では12歳以上（1〜3回目）の個別接種と小児ワクチン（2回接種）の接種を行う体制を整えています。自身と大切な人の健康を守るため、ワクチン接種をご検討ください。

■問い合わせ：健康づくり課新型コロナウイルスチーム ☎72-83340

電子入札対象を追加します 物品・役務の電子入札



昨年度に導入した電子入札の対象範囲に、物品・役務を追加します。参加方法の詳細は市のホームページをご覧ください。

■開始時期：10月1日から

■追加項目：物品の製造・販売、役務の提供

説明会開催

市内に本社のある事業者を対象に説明会を開催します。

■とき：7月22日（金）10時〜12時、14時〜16時（どちらも同じ内容）

■ところ：日本現代詩歌文学館講堂
■問い合わせ：財政課 ☎72-82262

浄化槽で快適な暮らしを

合併処理浄化槽設置補助金

浄化槽区域の個人住宅に合併処理浄化槽を設置し、適正に維持管理できる人へ補助金を交付します。

また、排水設備設置費用の融資にかかる利子を市が全額負担する制度もあります。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

■補助金額：設備設置費用の3分の2（下表のとおり限度額あり）

■申し込み：12月15日（木）までに下水道課（江釣子庁舎3階）へ

※予算内での補助のため、期限より早く終了する場合があります。設置を計画する段階で相談してください。

■問い合わせ：下水道課 ☎72-82292

■補助対象と補助金限度額

家屋の延床面積	浄化槽の大きさ	限度額
130㎡以下	5人槽	52万9,000円
130㎡超	7人槽	66万2,000円
二世帯住宅など※	10人槽	89万7,000円

※二世帯住宅とは、浴室と台所が複数あり、それぞれが独立した生活をする住宅です。



みんなで犯罪・非行の無い地域社会をつくりましょう

社会を明るくする運動北上集会

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの改善更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行の無い地域社会を築こうとする全国的な運動です。市内でも北上集会を開催します。

■とき：7月3日（日）13時30分〜16時

■ところ：日本現代詩歌文学館講堂

■内容：高校生一日保護司の委嘱、各小学校の代表児童による体験発表など

■問い合わせ：北上地域安全推進市民会議（地域づくり課内） ☎72-8301

夏休みは子ども創造塾でものづくりと科学を体験しよう！

「ものづくり探検隊」参加者募集

岩手大学でものづくり探検隊

■とき…7月28日(木)8時45分～17時

■ところ…岩手大学理工学部(盛岡市上田四丁目3-5)

■内容…鑄物のキーホルダー製作を通じた鑄造体験、科学教室、工作

■定員・参加料…20人(抽選)・500円

■とき…8月5日(金)9時～12時

■ところ…北上市産業支援センター(相去町山田2-35)

生産者と消費者のつながりで地場産品の信頼を高めます

北上市「食のつながり」認証者募集

生産者の農産物に込められたこだわりや思いが、加工品として販売されたり飲食店のメニューとして提供されたりしながら消費者までつながる取り組みを認証し、北上産品の信頼性を高めていきます。本年度も「つながり」に取り組む人を募集します。

■申し込み…7月15日(金)までに申請書類を農林企画課へ

■必要領や申請書類は、同課または市のホームページで取得できます。

■認証対象者…生産者、販売者、飲食店、加工業者

※認証の基準は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ…農林企画課 72-8235

■問い合わせ…産業雇用支援課 72-8242



珈琲 ブレイク

No.123

北上市長

高橋敏考



黒工誕生秘話

100年前に展勝地を開園させた沢藤幸治氏の功績についてはすでに紹介しているが、今回は黒沢尻町長として県立黒沢尻工業高校を誘致したエピソードが実に興味深いので紹介したい。北上市のこれまでの発展は、企業誘致への執念とも言える動き無くしては語れないが、中でも昭和14年開校の県立黒沢尻工業高校の誘致実現は重要な要素だと思っている。そこから当時関わった先人たちの並々ならない覚悟が伝わってくる。

当時、岩手県には工業高校が盛岡に一校しかなかった。沢藤は、黒沢尻町の発展には産業の振興、そのためには人材の育成が第一と考えていた。当時の県知事に「岩手の発展のためには県南に第二の工業高校を造るべき」と進言している。また、その財源の用意もあると伝えたことで知事も即賛意を示した。直後に、沢藤は自らが会長を務める黒沢尻町振興会の賛同を得、同日町議会を説得して建設費拠出の賛同も得ている。そして開会中だった県議会に陳情するという早業をやったのけたのだ。開校3年前の昭和11年12月のことである。

沢藤は当時の様子を「県立工業学校設立資金と黒沢尻町の意気」と題して「町政回顧録」に記している。実は、県に拠出した建設費は町予算の2年分に匹敵したというから驚きである。ちなみに、近年の当市の一般会計予算は平均約400億円であるから、その2倍の800億円を拠出したことになる。私はそこに、先人の並々ならない「覚悟」を感じざるを得ない。

先般、新聞報道があったのでご存じの方もおありかと思うが、当市は市立大学設置の本格検討について市議会に説明した。大学設置には初期費用だけでも100億円程度は必要といわれるが、当市の持続的発展のためには、地域の未来を創造する人材の育成に真剣に取り組む必要があると思っている。「黒沢尻町の意気」とまでは言えないのかもしれないが、我々も相当の覚悟を持って取り組む決意である。